

第3章

計画の指標

目指すべき方向性

No.	指標	算出方法等	現状 (年度)	R6 年度目標
—	男女共同参画の実現について賛成する人の割合	市民意識調査	80.1% (R1)	増加

基本目標Ⅰ 男女共同参画社会の形成に向けた意識づくり

No.	指標	算出方法等	現状 (年度)	R6 年度目標
1	「仕事」と「家庭」の優先度について、「共働きで、共に家庭を守る」ことが現状に近いと回答する人の割合	市民意識調査	33.2% (R1)	増加
2	「職場」での男女の地位が、平等になっていると回答する人の割合	市民意識調査	30.7% (R1)	増加
3	子どもがいると回答した人で、学校教育の場において「男女が平等である」と思う人の割合	市民意識調査	52.8% (R1)	増加
4	DV の被害について「相談しなかった」理由のうち、「安心して相談できるところがなかった、人がいなかった」と回答した人の割合	市民意識調査	30.7% (R1)	減少
5	乳がん検診の受診率	市民生活課調べ	9.7% (R1)	増加
6	特定健康診査（集団検診・人間ドック）の受診率（40歳～74歳で国保加入者）	市民生活課調べ	調整中% (H30)	増加

基本目標Ⅱ 男女が共に参画し、多様な生き方が選択できる環境づくり

No.	指標	算出方法等	現状 (年度)	R6 年度目標
7	ハラスメントを「自分が直接経験したことがある」人の割合	市民意識調査	37.6% (R1)	減少

8	性別により評価されることがないよう、人事考課基準を明確に定めている割合	事業所調査	29.1% (H29)	増加
9	妊娠、出産、育児、介護を理由に退職した従業員を対象とした再雇用制度がある事業所の割合	事業所調査	18.0% (H29)	増加
10	働き方改革について「内容まで知っている」人の割合	市民意識調査	46.4% (R1)	増加
11	ワーク・ライフ・バランスについて「内容まで知っている」人の割合	市民意識調査	25.5% (R1)	増加
12	介護休業制度について内容を「知っている」と回答した人の割合	市民意識調査	56.6% (R1)	増加
13	仕事と家庭の両立支援制度を整備している割合	事業所調査	29.3% (H29)	増加
14	悩みを抱えたとき、誰にも相談する相手がいないと回答した人の割合	市民生活課調べ	5.5% (H29)	0%
15	男性の平日 1 日の生活時間のうち、家事・育児・介護などの平均時間	市民意識調査	1 時間 55 分 (R1)	増加
16	介護保険ボランティアポイント制度の登録者数	高齢福祉課調べ	245 人 (H30)	300 人
17	認知症サポーターの人数（累計）	高齢福祉課調べ	7,821 人 (H30)	10,000 (R2 までの 目標値)
18	自立相談支援の相談援助件数	社会福祉課調べ	2,098 件 (H30)	増加
19	ひとり親家庭において、悩みがあるときに、相談すると回答した人の割合	子ども若者課調べ	82.6% (H30)	90%
20	研修会等を受け、防災意識が向上したと回答した人の割合	防災管財課調べ	— 新規	増加
21	公民館講座（外国語）の参加人数	社会教育課調べ	359 人 (H30)	増加

基本目標Ⅲ 女性の活躍できる社会づくり

No.	指標	算出方法等	現状 (年度)	R6 年度目標
22	市の附属機関・懇談会等における女性の登用割合	企画課調べ	24.0% (R1)	30%
23	農業における家族経営協定の締結数（累計）	農業委員会事務局調べ	96 件 (R1)	105 件
24	女性の起業支援件数（累計）	地域振興課調べ	8 件 (H30)	増加